

## [89]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2339168>

---

出版情報：文學研究. 89, 1992-03-25. Faculty of Literature, Kyushu University  
バージョン：  
権利関係：

# 彙報

## 文学科講義題目

平成三年度第一期(平成三年四月～九月)

### 国語学

特講 国語史の諸問題

演習 中世語研究

特研 国語史資料研究

演習 万葉集卷十

特講 近世上方語

演習 西鶴

特講 近世小説の特徴

演習 仮名草子

特研 近世文学の諸問題

特講 伊勢物語注釈史の研究

演習 源氏物語

特研 百人一首諺解

特講 平安時代文学史の諸問題

特研 近世文人の研究

特講 近世文人の研究

演習 日本語学Ⅰ(文語入門)

〃 日本語学Ⅱ

特講 近代文学・作品研究

特講 平安朝和歌史の諸問題

演習 中国語学

〃 古代漢語

〃 中国民族学專題研究

演習 中国語学

特講 楊貴妃文学史研究

演習 杜詩詳註

〃 袁枚「統詩品」

〃 唐代文学批評与唐詩

〃 《文心雕龍》研究

〃 明清小説研究

〃 近代中国詩研究

特研 中国語学・中国文学の諸問題

演習 英語学

〃 英会話

〃 英作文

〃 現代英語の語法

〃 英語学概説

演習 現代英語の語法

〃 英語学概説

海老井 教授

〃

工藤 教授

張 教授

王 教授

竹村 助教授

〃

張 教授

〃

合山 教授

秋吉 教授

竹村 教授

リード 教師

ピユー 教師

後藤 講師

宮原 教授

稲田 助教授

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃	生成文法研究	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	文法論	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
特研	文法とレトリック	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
臨講	文法とレトリック	(京都大学)	山梨	助教授	特研	独語学	〃	〃	〃
英文学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	O. Wilde	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
演習	New Testament in English Literature	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	Spencer and English Poetry	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	ヴィクトリア朝と現代の英国小説	(言語文化部)	吉田	教授	演習	独文学研究法演習	伊藤	教授	伊藤
〃	現代イギリス演劇	(福岡大学)	柴田	教授	〃	Moritz 研究	伊藤	教授	伊藤
〃	Shakespeare	〃	園井	教授	特研	現代文学	伊藤	教授	伊藤
〃	T. S. Eliot	〃	〃	〃	演習	Kolloquium	池田	助教授	池田
〃	Sir Philip Sidney	〃	〃	〃	〃	短編小説及びドラマ	池田	助教授	池田
特研	〃	〃	〃	〃	〃	言語芸術の諸問題(III)	池田	助教授	池田
米文学	〃	〃	〃	〃	特殊講義	近代ドイツ演劇のドラマトウルギー	池田	助教授	池田
演習	Stylistic Analysis	〃	〃	〃	特研	Kolloquium	池田	助教授	池田
〃	Topics in Literary Theory	〃	〃	〃	演習	ファウスト文学研究	金山	助教授	金山
〃	Introduction to Poetry	〃	〃	〃	臨時講義	文学者と時代	〃	〃	〃
〃	20世紀アメリカ小説(言語文化部)	〃	〃	〃	一マン一族とその周辺	〃	〃	〃	〃
〃	Whitman 演習(言語文化部)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	20世紀アメリカ文学とビュリタニズム	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	原口教授	〃	〃	〃	演習	仏語学	山口	教授	山口
〃	〃	〃	〃	〃	演習	フランス語会話	ブーヴィエ	教師	ブーヴィエ



特講	近代文学・作品研究 (教養部)	海老井 教授	〃	現代英語の語法	宮原 教授
特講	平安朝和歌史の諸問題 (福岡教育大学)	工藤 教授	〃	Middle Length Poems	リード 教師
臨講	説話文学研究の諸問題 (横浜国立大学)	今野 教授	〃	英語学概説	稲田 助教師
	中国語学 (神戸大学)	山田 教授	〃	文法論	〃
演習	古代漢語	張 教師	特講	英語学研究の方法	〃
〃	中国民族学專題研究 (西南学院大学)	王 教授	演習	英文学	リード 教師
特講	楊貴妃文学史研究	竹村 助教授	〃	Sir Thomas Malory	〃
演習	杜詩詳註	〃	〃	William Golding	〃
〃	袁枚「統詩品」	張 教師	〃	ウィクトリア朝と現代の英国小説 (言語文化部)	吉田 教授
〃	唐代文学批評与唐詩	〃	〃	現代イギリス演劇 (福岡大学)	柴田 教授
〃	《文心雕龍》研究	張 教師	〃	W. Blake	園井 教授
〃	日本詩話研究 (教養部)	合山 教授	特講	Sir Philip Sidney	〃
〃	近代中国詩研究 (言語文化部)	秋吉 教授	特講	ソネット研究	〃
特研	中国語学・中国文学の諸問題	竹村 教授	特研	米文学	〃
臨講	中国近・現代文学史研究 (神戸大学)	山田 教授	演習	Saul Bellow	ピュー 教師
	英語学	リード 教諭	〃	Topics in Literary Theory	〃
〃	英会話	ピュー 教師	〃	Erza Pound (言語文化部)	吉野 教授
演習	英作文	〃	〃	Willa Cather (言語文化部)	小谷 助教授
			特講	Mark Twain	原口 教授
			〃	William Faulkner	〃
			特講	アメリカ南部の小説家	〃



臨講 日本列島の言語学 (東京都立大学) 中本 教授

〃 オーストロネシア比較言語学概論 (東京大学) 土田教授

〃 日本語論…外から見た日本語 (東京大学) 池上 教授

### 学会・研究室行事

#### 国語学国文学関係

○九州大学国語国文学会 (平成3年6月2日)

『日本国現報善悪霊異記』の一考案 京 健治

——「示アヤシキ表縁」について—— 南里 一郎

中世における「ニテアリ」について 平島 順子

『懐硯』の考察 中村 恵

『東文章』桜姫の人間像 中村 恵

——桜姫は淫婦か—— 林 慧君

現代語複合動詞の構造について 林 慧君

——動詞の自他を通して—— 林 慧君

連濁と連声濁 高山 倫明

高校生の方言行動・方言意識 山 県 浩

——群馬県北西部地域の場合—— 山 県 浩

檀一雄の戦後 長野 秀樹

『板地伊勢物語歌かるた』(三池カルタ記念館所蔵)について 長野 秀樹

——『伊勢物語』享受史の一端として——

○第41回西日本国語国文学会 吉田 達

(平成3年11月22～23日 於 福岡大学人文学部)

《公開講演》 藤井 茂利

上代日本語の表記

——漢文からの離脱——

《研究発表》

皆川淇園の語分析法について

——「易学開物」を中心に——

『平家物語』と文覚

——作品に即して成立の場を探る——

山之口猿の初期作品について

論議資料の節博士と入声との関係

古文書における「る・らる(被)」の特色

○「語文研究」第71号(平成3年6月)

九州大学関係者のみ

前田流平曲の史的变化 辛島 美絵

——国語史資料としての観点から—— 奥村 和子

幼き日のかねごと 後藤 康文

——『伊勢物語』第二十三段・「くらべこし」の解釈——

「倭や姥ひとりなく月の友」注解 井上 敏幸

——『更科記行』の諸問題(下)——

——

——

黄表紙作者小考

園田 豊

—— 忍川春町・芝全交・万象亭に関する覚え書き ——

「夢十夜」の時間・試論

中原 豊

○「語文研究」第72号（平成3年12月）

時平像の形成

南里 みち子

天平二年筑紫梅花の宴

後藤 康文

—— 『万葉集』巻五・八一五〜八四六番歌の構造 ——

桜姫の純情と貞節

中村 恵

—— 鶴屋南北作『桜姫東文章』より ——

小林秀雄と太宰治

山崎 正純

—— ジイド受容をめぐる接点 ——

現代語複合動詞の構造について

林 慧君

—— 動詞の自他を通して ——

重刊本「捷解新語」の巻のグループ化

趙 南徳

—— 「ガ行音の表記法」「御（おん）」「儀」などの

現れ方から ——

○「文献探究」第27号（平成3年3月）

ハ行音の音価と表記

奥村 和子

—— 朝鮮資料『捷解新語』を中心に ——

大江匡衡 粟田障子十五連作

木戸 裕子

資料 山之口猿

松下 博文

—— 火野葦平「戯曲 ちぎられた縄」パンフレット ——

掲載作品 ——

栗生の方言（二） さ之部〜と之部

山崎時造・著

○「文献探究」第28号（平成3年9月）

研究ノート「ごころ」のいわゆる「御嬢さん策略家説」再考

身のうさは人しも告じ

飯倉 洋一

—— 「浅茅が宿」作中歌補注 ——

〈翻刻〉九州大学音無文庫蔵『知頭集』（二）

翻刻 『諏訪靈験記』

藤島 綾

栗生の方言（三） な之部〜ん之部

岩松 博史

〈翻刻〉『翻譯満語纂編』抄 その三

山崎時造・著

中国文学関係

崎村弘文・監修

中国文芸座談会

赤峯 裕子

第129回（平成3年1月20日）

温飛卿の作詞の意図

石田 浩子

李煜の詞に於ける「愁」「恨」について

安松 靖子

白樺論——その創作の意図

堀野 このみ

長編小説『無冕皇帝』をめぐる論争とその意義

与小田 隆一

第130回（3月17日）

唐代・愛情小説における「李娃伝」の位置付け

小村 佳子

唐代・愛情小説における「李娃伝」の位置付け

小村 佳子

小村 佳子

菅原道真をめぐる和習論について

——『菅家後集』所載詩における考察 田上珠己

遇羅錦『春天的童話』に於ける結婚観・家庭観

湯前智子 張少康

中国古代的詩論和画論

第131回（4月21日）

徐玉諾と魯迅

——「郷土文学」を軸として—— 秋吉 收

政治小説『経国美談』の清末中国への流入

若杉邦子

第132回（5月12日）

『文心雕龍』特別シンポジウム

龍学研究在台湾

近年来中国大陸『文心雕龍』研究現状

第133回（7月7日）

『白氏文集』四分類についての一考察

——閑適詩・感傷詩の分類基準

六朝文学中的命運觀念研究

第134回（10月6日）

魯迅『野草』の一側面

——詩人徐玉諾の影——

文論に対する一つの視点

○九州中国学会（平成3年5月11・12日 於九州大学）

徐玉諾と魯迅

——「郷土文学」を軸として——

政治小説『経国美談』の清末中国への流入

若杉邦子

○日本中国学会（平成3年10月19・20日 於神戸大学）

徐玉諾と魯迅

——散文詩集『野草』をめぐる—— 秋吉 收

○『中国文学論集』第20号（平成3年12月）

公安派与袁宏道の文艺思想

曹丕「文氣説」的来源及其評価問題 袁 少康

白居易における詩集四分類についての一考察

——特に閑適詩・感傷詩の分岐点をめぐって——

『還魂記』における杜詩の受容 静永 健

『郷土文学』作家としての魯迅と徐玉諾 根ヶ山 徹

中国志怪小説の日本に於ける伝播と影響 秋吉 收

（報告）現代中国語の各種音声表記法について 笠 征

——その中国語授業の発音指導への応用——

明木茂夫

### 英語学英文学関係

○日本英文学会第44回九州支部大会

（平成3年10月12・13日 於福岡大学）

社会的作家としての Mathaniel Hawthoren

青井 格

寓意と象徴の間

——ホーソーンにおけるロマンスの意味について——

高橋 勤

The Confidential Man における

“QUITE AN ORIGINAL” hero

倒置文について

竹内 勝徳  
庄口 美樹子

『日陰者ジユード』——分裂のテーマを巡って——

石井 有希子

○第30回日本アメリカ文学会全国大会

(平成3年10月26・27日 於琉球大学)

ビューリタニズムとアメリカ文学

原口 遼

○九大文学34号

Measure For Measure の冶金学

——貨幣・材質検査・贖罪——

吉原 ゆかり

スウィフトの女性観について

山内 暁彦

キーツの詩における眠りと想像力

後藤 美映

Jude the Obscure 試論

——分裂の向(こう)にみえるもの——

石井 有希子

社会的作家としての Nathaniel Hawthorne

——「読み取る」ことと支配すること——

青井 格

“The Man of the Crowd”: 幻想の空間

大城 房美

The Confidence Man における「演技」の構造

Faulkner の Mississippi Poems 評釈

ヘンタソンの挑戦

英語トートロジーの意味と機能

Shakespeare における「不定詞付対格」構文

倒置文の特徴に関する一考察

竹内 勝徳  
原口 遼  
八尋 春海  
村尾 治彦  
野 仲 響子  
庄口 美樹子

独文学関係

○九州大学独文学会第5回総会・研究発表会

(平成3年4月27日 於 九大文学部会議室)

hin と her の非対称性について

瀧 田 恵巳

『魔の山』におけるアレゴリーと黙示録モチーフ

について

小黒 康正

Datierungsprobleme für den Aufsatz und

den Brief an Martini von Heinrich von Kleist

Roswitha Okochi-Bering

○日本独文学会第四十五回総会・春季研究発表会

(平成3年5月18日・19日 於 日本大学)

○日本独文学会秋季研究発表会

(平成3年10月8日・9日 於 名古屋大学)

テキスト・データベースの利用による語形変遷追跡の試み

——男性・中性名詞の単数二格語尾について——

鈴木 敦典

Erbaunungsliteratur はくまろ——Johann Arndt:  
Vier Bücher vom wahren Christentum を中心に

伊藤利男

○「九州ドイツ文学」第5号

(平成3年10月発行)

Zwischen Schlaf und Wachen in Goethes  
„Wahlverwandtschaften“

—Die innere Natur bei Othilles Entschluß  
zu entsagen—

池田紘一

Heines „Ludwig Börne. Eine Denkschrift“

岩本真理子

Vokalische Unterspezifizierung im Deutschen

行重耕平

『魔の山』におけるアレゴリーと黙示録モティーフ  
について

小黒康正

hinとherの非対称性について

瀧田恵巳

アルブレヒト・シエーネ「曲がること」と「折れること」  
あるいは服従と抵抗

——人間行動の歴史的比較研究としての比較  
モティーフ史——(和訳)

池田紘一

伊藤利男

シユペーナーの『身上書』

○日本独文学会西日本支部研究発表会  
(平成3年11月29日・30日 於 大分コンパルホール)

仏文学関係

○ステラ第9号 平成3年3月

La particule ga en japonais et le problème du

《mapping》

Autour des deux 《Lady Macbeth》 dans La Loge

(Gakuya) de SHIMIZU KUNIO

J. C. ブーヴィエ

総称の「le」をめぐる一論争について

古川直世

トルニエの神話的次元『ガスパール、メルキオール、バタ  
ザール』を読む

岩松正洋

セリーヌの『戦争』における〈ゲロテクス〉

木下樹親

『アルマンス』における物語の構造化

高木信宏

『偽金つかい』(ロンドン草稿)校訂版の批判的検討

吉井亮雄

○ステラ第10号 平成3年10月

『ギニョルズ・バンドⅡ』の第37セカンス

木下樹親

スタンダールの小説における〈まなざし〉

『ボヴァリー夫人』の〈対〉の構造

『悪魔の陽の下に』における〈不安〉

高木信宏  
田中真理  
野村知左子  
前川完

ボリス・ヴィアンの言葉遊び

『運命論者ジャックとその主人』の3つの主題

山下 広一

セクシユアリテの謎 (日記に即して)

高藤 冬武

○一九九一年度フランス語フランス文学春季大会

(平成3年度6月9日 於東京大学)

ラシーヌの宗教劇—「エステル」・「アタリ」—と

宗教詩「聖歌」

柳 光子

○一九九一年度フランス語フランス文学秋季大会

(平成3年度10月27日 於長崎外国語短期大学)

セリーヌの『ギニョルズ・バンド』におけるファンタスム

木下 樹親

Marie-Aude Murail, Un des auteurs de l'École des

loisirs J. C. ブーヴィエ

○第38回九州フランス文学会

(平成3年11月30日 於久留米大学)

『田舎司祭の日記』について

野村 知左子

ボリス・ヴィアンの言語と文体

前川 完

スタンダールの『ラシエル』

高木 信宏

18世紀における「庭」の意義

栗原 好郎

言語学関係

○九大言語学研究室報告第12号 (平成3年3月)

【論文】

満洲語文語動詞 1st. 《及ぶ、足る》の用法

—その完了形の反語的用法を主とした用例—

早田 輝洋

Thai Aspect and Modality

Hiroko AYABE

—A Review of Past Studies—

深層表記と表層表記

田村 宏

—朝鮮語のふたつの表記法

博多方言文末助詞「ト」の新用法と語彙拡散

陣内 正敬

WIDE and HIROI:

An English-Japanese Contrastive Study

Yasuhiko OHSATO

五島列島・下崎山町方言における動詞語幹内母音の交替

—a/o 交替・o/e 交替—

有元 光彦

北京語の語アクセントと声調交替について

馮 蘊澤

数量詞の副詞的用法に関する小考

—述語との関わりから—

江口 正

左側唇顎口蓋裂術後1例における構音の誤り方について

百野 亜子

福岡市博多方言における可能接辞

坪内 佐智世

【卒業論文要旨】(平成3年1月提出)

和語・漢語と外来語との使いわけについて

永福 祐郎

佐賀県小城郡芦刈町永田地方の方言の動詞語形変化

末次 美佳

愛媛県松山市方言における単純疑問と疑問詞疑問

丹下 紀子

福岡市早良区における新方言の世代別、男女別使用状況

津川 智子

福岡県筑後市における音調の世代差

中富 知子

省略外来語の形態論

宮本 千春

長崎市方言の存在詞「ある」「おる」の用法について

村松 正善

○九州大学言語科学研究会 (第28回)  
(平成3年3月23日 於九州大学文学部)

福岡市博多方言の可能接辞

坪内 佐智世

○関西言語学会 (第16回)  
(平成3年11月9日・10日 於京都外国語大学)

間接疑問節における助詞の省略

江口 正

朝鮮語の形態音韻論と韻律範疇

和田 学

○人工知能学会・AIシンポジウム「言語・音声・対話」  
(平成3年12月5日 於東京都)

対話における心的領域の機能・経験・未経験領域の区別

田窪 行則

○独協 International Forum: The Future of Functional Linguistics  
(平成3年12月20日 於独協大学)